

2024/01/30

～本庄早稲田で越境学習～

ワークショップ「本庄早稲田会議」

第2回開催レポート

About

■ 開催日時

2024年1月30日(火) 午後3時～5時

■ 開催場所

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
レクチャールーム1 および技術交流コーナー

■ 参加者

27名(20団体)

■ グラフィックレコーディング

株式会社TAM **佐藤 まに氏**



実施概要

本庄市、本庄早稲田の杜地域では、様々な企業・団体の方々がそれぞれの目標に向かって活動している。同じ時に同じ地域で活動している。今年7月に開催した同ワークショップで結成した班の報告や新規参加者の交流を深めることを目的とし、「本庄早稲田会議～本庄早稲田で越境学習～第2回交流会」と題して交流ワークショップを開催した。

スケジュール

時間	内容	
14:30	受付	
15:00	挨拶・趣旨説明	司会 財団田中・本庄市松橋様 ご挨拶 本庄PJ鈴木様
15:05	前回活動報告	年間イベント企画 映えMap
15:20	企業PR	本庄ガス様・JR様・JA様・電知様・エム ケー工業様・カインズ様・本庄市都市計 画課様・本庄市広報課様
15:50	グラフィックレコーディング 中間発表	TAM佐藤様
15:55	ワークショップ説明	
16:00	ワークショップ「本庄早稲田地域で働く者同 士が震災時にどのような連携をとれるか？」	
16:30	休憩	
16:35	各班発表	1グループ/2グループ/3グループ
16:50	クロージング まとめ	本庄PJ鈴木様



イベント参加レポート：ワークショップ本庄早稲田会議

2024年1月30日、JR東日本・本庄早稲田駅近くの早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターで開催された「ワークショップ本庄早稲田会議 第2回交流会」。1月1日に発生した能登半島地震を受け、急遽設定されたワークショップのメインテーマは「本庄早稲田地域で働く者同士が震災時にどのような連携をとれるか?」。さまざまなバックグラウンドをもつ参加者同士の交流、ディスカッションにより、新しいアイデアが生まれたワークショップをレポートにまとめました。

■4カ月足らずで2つのアイデアが実現

ワークショップ冒頭、本題に入る前に、前回の振り返りとして設けられた「活動報告タイム」。第1回目のワークショップでは、初回ということもあり、参加者全員が手探りの状態だったにもかかわらず、アイデアを出し合うだけでなく、最終的にはアイデアを形にするために4つの班が結成されました（ちなみに、私は「年間イベント企画チーム」に加入しました）。

結論からお伝えすると、その後、チームごとに打ち合わせが実施され、4チーム中2チーム（「年間イベントチーム」と「映えスポットマップチーム」）が、2023年中にアイデアを練り上げ、実現にこぎつけました。

「映えスポットマップチーム」の成果物は「隠れはにぽん追跡マップ（はにぽんを探せ!）」。「はにぽん」を知らない人はいないとは思いますが、はにぽんは本庄市の遺跡から発掘された埴輪をモチーフにしたマスコットです。

（写真は私が本庄早稲田駅で見つけた「隠れはにぽん」）。



Report
1/3

編集者/ライター

池口 祥司氏



池口 祥司氏(いけぐち しょうじ)
1984年、山口県生まれ。早稲田大学法学部卒。2008年、株式会社PHP研究所入所。第一普及本部東京普及一部(書店営業)、企画部、特販普及部を経て、ビジネス出版部にて書籍の編集業務に従事。現在は、2018年に参画した天狼院書店の「取材ライティング・ゼミ」講師の他、フリーランスの編集・ライターとして書籍、雑誌、企業会報誌、ウェブメディアの編集・執筆に携わる。担当した書籍に『経営者になるためのノート』(柳井正著)、『大人はもっと遊びなさい』(成毛眞著、以上PHP研究所)などがある。

本庄早稲田会議

もう1チームの「年間イベントチーム」は、地域連携イベント「ほわフェスタ 2023 ～20th Anniversary～」に参加し、「クリスマスオーナメント作成ワークショップ」を実施。早稲田大学の裏山で集めた松ぼっくりや木の枝を加工して用意したパーツが足りなくなるくらいの大盛況となりました（写真はワークショップ参加者の作品）。



ここからはいよいよメインテーマの「本庄早稲田地域で働く者同士が震災時にどのような連携をとれるか？」。

早稲田大学本庄総合事務センターの鈴木啓太事務長が、大隈記念講堂の耐震補強をする際、ある教授が、大学の施設だけ補強すればいいという考え方は心情的に問題があるのではないかと投げかけたエピソードを紹介し、地域連携の重要性を訴えたことをきっかけに、議論がスタート。「自助」だけでなく、「共助」や「公助」といった多様な視点からディスカッションが行なわれました。

実は今回のワークショップでは、近年、ビジネスシーンでも注目が集まっている「グラフィックレコード」（グラレコ）を導入。グラレコを担当したのは、株式会社TAMの佐藤まにさん。本レポートにも掲載されていますので、ぜひご覧ください。

■ ワークショップが生み出す「つながり」の可能性

佐藤さんのグラレコは、「このレポートは必要ないのではないか……」とってしまうほどのすばらしい内容ですので、詳細はグラレコに譲るとして、最後に私が全体を通して感じたことをお伝えしたいと思います。

それは、災害時には「地域の人と人とのつながり」がもっとも強固なセーフティネットになるのではないかという、当たり前の気づきです。

今回の参加者および参加企業は、さまざまな知識とリソースを有しています。たとえば、ガスを使って発電するノウハウ、災害用の備蓄、情報共有の仕組み、車中泊の知見、リユース電池を災害時の電源として活用するというアイデア等々。

今回のようなワークショップで顔見知りになり、バイネームで、定期的に情報交換できる関係を築くことができれば、有事に際して、「電源の問題については、本庄ガスの〇〇さんと電知の〇〇さんに聞いてみよう」「車中泊について、カインズの〇〇さんに相談してみよう」「自分の住んでいる地域は被害をまぬがれたから、ボランティアとして役に立てないか、市役所の〇〇さんにメッセージしてみよう」といった具合に協力し合うことも可能になります。

もちろん、その前提として、災害時のマニュアル作成や避難所の整備、避難経路の確認、防災グッズの準備といった公助や自助の発想も必要です。そのうえで、共助のベースとなる「人と人とのつながり」があれば、マニュアルでは対応できない事象、不測の事態に対しても、知恵を出し合って取り組めるのではないのでしょうか。

池口祥司（編集者・ライター）

本庄早稲田会議

～本庄早稲田の環境学習～ 第2回交流会 2024.1.30.



会務事務長 田中 浩一



本庄早稲田駅周辺の人も
越境して交流しよう!

その関係は...

～ 周遊的な関係

近頃は地産地消の時。
自分たちで買物したいですね。
と、思っている人が...



手配したい
いきましょ!

いざという時は
協力したい!

前日、発正した翌...

前年の活動報告

年間活動



田中 浩一

本庄早稲田の
資源をどう使うか!

12月29日、クイズ大会を行いました!



材料
を...

... 参加者
2023年2月

7月28日開催!

防災と防災マップ BSM 班



田中 浩一

田中 浩一

景色が...
より重要になりました!



12月29日
開催!

「防災と防災マップ」をテーマにした
クイズ大会を開催しました。
参加者全員が楽しく参加しました。

「風景が...」等、景色がより重要になりました。
7月28日開催!

参加企業PR

本庄早稲田株式会社様



田中 浩一



災害時のガス配管

金庫

地震

2023年

1月

7月28日
開催!

大規模停電時

避難場所の確保
が重要になります。

地震対策の計画

7月

2023年

開催!

4月4日

東日本旅客鉄道(株)様



田中 浩一



防災と防災

災害時の備蓄

情報共有

毎年、防災訓練を行います!

12月29日

開催!

7月28日

開催!

12月29日

開催!



JASIRO 株式会社

11月20日
本庄市立総合庁舎

伊藤 君

重要支援
11月11日 11月19日

子会社
11月11日 11月19日

資産管理
11月11日 11月19日

JASIRO
11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

株式会社 電物 様

5 All IoT 5 の価値を考へて

中国
EVA 導入

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

工業 株式会社 様

早稲田大学の研究室と専ら
本世紀技術の設計と考案

三浦 君

金庫加工
11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

株式会社 入 様

「C425 構想」
11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

本庄市都市計画課 様

公園計画に際して

公園区
11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

本庄市広報課 様

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

11月11日 11月19日

7-73007

「本庄早稲田地域で働く者同士が震災時にはどう連携をとりか？」

地震は怖い？
 起きてから
 連絡がとれない...どうしたらいい？

高等学校
 避難場所の
 受け入れ...
 不足している
 不安...

乗込人数
 の
 問題は...

予備
 対策

土曜日に
 作業

予備
 対策

地震時の
 17-25をどうにかしよう！
 どうにか
 できる？
 個人...
 企業...

17-25
 の
 問題
 実際には
 何ができる？
 コレは...
 記憶にない...

専門家
 11月27日...
 協議...
 協議...
 協議...

応援
 X...
 100%

乗込
 11月25日
 訓練...!

水
 300
 個...!

災害は
 種類が
 多い。
 どうにか
 できるか？

災害時の
 避難所
 避難所
 避難所は
 中絶
 職員の
 運営
 職員の
 人数は？

最低限
 の
 対応
 どう？
 最低限
 の
 対応
 どう？

家庭
 BCP

最低限
 の
 対応
 どう？
 最低限
 の
 対応
 どう？

「本庄早稲田地域の若者同士の震災時にはどう連携できるか？」 名目発表



① 1人1人

震災時の避難場所生活には...
 市や自治会職員が運営している。
 自助 自助 自助
 水 #PRVの再作成
 情報集約の効率化の為に...
 早稲田学院生が中心として...
 震災時の避難場所生活には...

「本庄早稲田会誌」は、災害対策の全国的な取り組みを周知を図る。本庄の地理的優位性を...

② 1人1人



③ 1人1人

大きな支援ができること 返すけれど、
 (ノウハウ 知の機会が...)

避難所 (1人1人救助計画) 備蓄情報 (避難所生活のノウハウ)

11月20日 活用できる... 避難所生活のノウハウ

事前: 知の機会が...!

共有 支援内容の共有 (共有) 避難所生活のノウハウ (ノウハウ)

情報知識 避難所生活のノウハウ

行政のSNSの登録増...
 正しい情報...
 水 車中泊体験...
 自 知の場...!





ご参加

20団体名(50音順)

- エムケー工業株式会社
- オルトビオス児玉ホーム株式会社 電知
- 株式会社カインズくみまち推進部
- 株式会社カインズ販売部本部 埼玉第3エリア
- 埼玉よみうり新聞社
- JA埼玉ひびきの総務A2:A21部企画総務課
- 須田修二一級建築事務所
- 東日本旅客鉄道株式会社熊谷営業統括センター 本庄駅
- 東日本旅客鉄道株式会社熊谷営業統括センター本庄早稲田駅
- 本庄ガス株式会社
- 本庄市企画課
- 本庄市企画財政部広報課
- 本庄市議会議員
- 本庄市文化財保護課
- 本庄市役所都市計画課
- 編集者/ライター
- 早稲田大学大学院先進理工学研究科生命理工学専攻環境生態学研究室
- 早稲田大学本庄高等学院
- 早稲田大学本庄高等学院OB
- 早稲田大学本庄高等学院本庄プロジェクト推進室
- (公財)本庄早稲田国際リサーチパーク

- ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ●
 - ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■
 - ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼
 - ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ●
 - ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■
 - ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼
 - ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ●
 - ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■
 - ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼ ■ ● ▼
- 本庄早稲田会議** ▼ ■ ● ▼ ■ ●